



平成29年9月7日
発行 熊谷高校 SSH 事務局

☆ SSH 生徒研究発表会の様子



SSH 生徒研究発表会は、JST(科学技術振興機構)主催のSSH 指定校による研究発表会です。今年は8月9日～10日の2日間、神戸市の神戸国際展示場にて開催されました。本校からは生物部の2年生2名、1年生4人が参加しました。テーマは「マンニトールからエタノール生産を行う既存酵母の最適条件決定の研究」で2年生が1年近く研究してきました。前日は、ポスターの設置と発表の準備。今回は1年生もポスター発表を行いました。

1日目は基調講演で理化学研究所の高橋政代さんから「iPS細胞で明日を作ろう」をテーマに将来の医療や科学者として大切なことなどお話しいただきました。ポスター発表では練習通り丁寧に説明し、聞き手との対話も大切にしていました。本校の発表には、他の高校の先生や高校生から様々なアドバイスを頂きました。海外校とも英語によりコミュニケーションをするなど、貴重な経験をさせていただきました。今後の活動において活かしてもらいたいです。

2日目は全体代表6校による口頭発表がありました。代表校に選出された高校は研究の目的に合った独自に道具を開発するといった工夫がありました。質疑応答での鋭い質問にもしっかり答えていました。文部科学大臣賞に選出された「微小重力下での濡れ性を利用した管内流の制御」は宇宙でも応用できる可能性があるという素晴らしい研究でした。

部長より

SSH全国発表会で、「酵母の研究」について発表しました。僕たちは、エネルギー問題、環境問題を解決するためにバイオエタノールに注目しました。酵母はバイオエタノールを作ることができるのですが、培養条件によってエタノールの生成量が違います。そこで、僕たちの研究では酵母の培養の最適条件を探ることを目的としています。今回の発表会では、さまざまな分野の素晴らしい発表を聞くことができました。発表を聞いてポスターのまとめ方、発表の仕方など参考になるものが多く、今後の研究に生かせる貴重な経験ができました。僕たちの発表では、発表を聞いた人から質問を受け、研究について議論する中で、いままで気づかなかった課題が見つかりました。互いに学びあい、発表会を通じて成長することができました。



お知らせ

SSH 薬学研修 (10月6日) 参加者募集!

先日、クラス掲示を通じて募集をしましたが、まだ、若干名の空きがあり、募集を受け付けています。熊谷高校の薬学系志望者に特化した研修です。興味や関心がある生徒は、ぜひ参加してみてください。

希望する生徒は、化学の内田先生までお願いします。



☆文化祭の門の作成の様子



今年度は、SSHの一環として文化祭の門の作成をしています。講師にもつくり大学の萩原さんを招いてご指導いただきました。「凱旋門」という難しいテーマですが図面を書く、木材を組むなど専門的な技術を学んでいます。講師の方からは「集中力が素晴らしい」とお褒めの言葉を頂きました。当日は素晴らしい門ができるはずです。たのみです。